○●○●○　夕陽会便り　○●○●○

2011年8月20日発行（11号）　夕陽会広報部

雅秀エンタプライズより貸与を受ける備蓄倉庫の正式名は、品川区の助成を受けるため、**【夕陽会区民組織防災資器材倉庫】**と決まりました。正式契約前から、下記準備を進めています。なお、正式貸与契約後は町会が鍵を保管します。

①品川区から貸与された備品

・担架　・リヤカー
・破壊工具セット一式　：　７点
（カクヤ、鉄ハンマー、ツルハシ、シャベル、ロープ、金テコ）

②杉野学園から寄贈された備品

・折りたたみ机４台　・丸椅子１０脚

③奥村理事の友人から寄贈された備品

・鉄製の整理棚４点
６月21日㈱丸西様より２トン車を借り出し、ボランティア３名（奥村、西、塚田）が千代田区神田より運搬・搬入

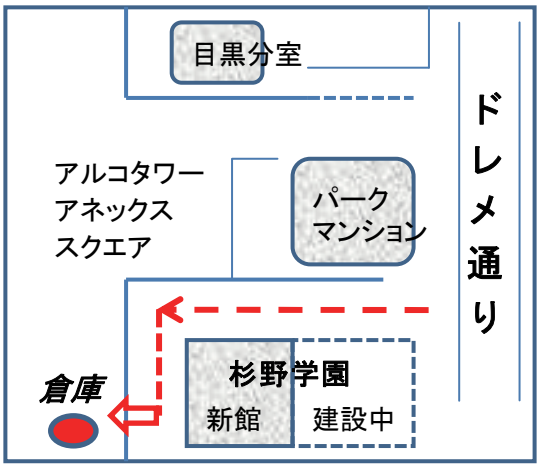
④今後揃える備品（予定）

・積立金（２７４万円）を原資とし、必要機材を順次揃える

揚水取水ポンプ、組み立て式水槽プール、
自家発電機、　屋外照明器具、簡易トイレ、
ブルーシート、　ジャッキ、ヘルメット、
懐中電灯、灯油、　プロパンガス用炊事器具など

＊その他、皆様からの**【共助】**に必要と思われる備蓄候補品提案をお寄せください。
【連絡先：㈱万和　奥村潤一郎　3779-0255】

地 図



総合防災訓練のご案内

開 催 日：平成23年９月４日（日）
集合時刻：午前８時30分
集合場所：目黒川　亀の甲橋
実施場所：第一日野小学校
そ の 他：昼食代支給

夕陽会のタスキ完成

タスキを懸けていると、大手を振って公共活動が出来る。その第一弾として、地域センターの散水栓の水を使う許可をもらった。ボランテイアたちは、亀の甲橋周辺のプランターの水やりに早速活用している。

【夕陽ヶ丘街づくり協議会】と【夕陽会】との関係

５月の定時総会において、マンション雅叙苑の会員から、夕陽ヶ丘街づくり協議会に関する質問が数多く出されたが、質疑がかみ合わず、別途説明会を開くよう要請があった。
街づくり協議会が、マンション雅叙苑代表者３名にたいし、６月 11 日説明会を実施した。
誤解の最大の原因は、**街づくり協議会が夕陽会の内部組織と思われていたこと**であった。
2007 年 12 月の臨時総会や 2008 年４月の定時総会での説明が、十分知られていないとの指摘を受けたので、ここに改めて成立の経緯と事業内容の要点を掲載する。

１．【雅叙園アルコタワー増設計画に関する交渉経過】

・増築計画説明会（2006 年 12 月）は形式的。工事車両はドレメ通りを通らない予定と説明された。
・対応窓口として、良好な地域の環境を守るという趣旨で**【地域環境保全委員会】**を役員会の下に設置。
　委員長は金武会長、副委員長は佐藤。メンバー14 名（2007 年４月夕陽会定時総会後発足）
・工事説明会（2007 年 12 月）で初めて、大型工事用車両（10トン車）が大量に流れ込むことが判明。
・委員会が主に、工事発注者と大林組と交渉し詳細を聞き出し、実車シュミュレーション等を行う。
・特に、工事中の歩行者の安全確保および完成後の歩行者の増加対策について意見を出し合う。

【雅秀エンタプライズからの提案】

ドレメ通りの関係者・利用者の声を集約するため**【ドレメ通りを良くする会**（仮称）**】**を発足させたい。
事業資金 **5,000 万円**、事務経費 **100 万円**を拠出。事務局を買ってでる。

【会を作りたい理由】

①町会は組織が大きすぎ、またドレメ通りに全く関係のない人々も会員である。
　したがって、個々の要請者の顔が見えないので、個々の要望の重要度が判断できない。
②相矛盾する意見の調整や夢想的提案を退け、早めに着手すべきハード的対策を決め実行したい。

【町会からの対案】

受け皿として、孫子の代まで見据えた、より大きな構想を含めて、街全体の将来計画を考える

【夕陽ヶ丘街づくり協議会（仮称）**】**を逆提案（品川区とも相談し）

・**短期的には**（雅秀エンタプライズの要望どおり）
　①ドレメ通り入り口から増設棟入口までの歩行者のための安全・安心対策
　②工事期間中の工事車両安全運航のための各種整備
・**中・長期的には、**
　マンション雅叙苑まで(2期)、目黒川まで（3期）を含め、道路の拡幅・歩道の確保、
　電柱の地中化、小公園の設置などを幅広く検討し、将来の夢を描く。
・事務局：杉野学園内
・会　員：①地域街づくりの活動を積極的に行う夕陽会会員。
　　②夕陽会会員でなくとも定める区域内において活動する法人を代表する者、および土地・建物等を所有する者の代表者のうち、役員会が認めた者。

●夕陽会 **臨時総会** を開催し、交渉途中経過と **夕陽ヶ丘街づくり協議会**（仮称)計画を説明し、町会員の意見を集約した。(2007 年 12 月 19 日)

●上記臨時総会の意見をベースに交渉継続。

●夕陽会会長が、協定書および覚書に調印。(2008 年 6 月 10 日)

2．【夕陽ヶ丘街づくり協議会概要】

・**【夕陽ヶ丘街づくり協議会】は、【夕陽会】とは別の、品川区に届け出た <u>独立した団体</u>。**

・協議会のメンバーは30個(2011 年 5 月 16 日現在)

・協議会の総会は通常4月に開催され、活動報告・会計報告および次年度の事業計画と事業予算が審議される。その結果の概要は、夕陽会定時総会と夕陽会便りで報告される。

・**人事**　会長：藤井清一(転居)⇒ **七沢基**

会計：田中公平(死亡)⇒ **佐藤至弘、高橋昭廣**

監事：雅秀エンタプライズ(ハドソン・ジャパン)井上秀利(退職)⇒ **須永征則、西　春雄**

3．【夕陽ヶ丘街づくり協議会】の立ち上げ

地域環境保全委員会が中心となり

①臨時総会で、勉強会開催を提案しメンバー募集 ⇒ 3 回 **勉強会**(2008 年 2 月、4 月)

②協議会のための準備会メンバーを定時総会でも募集 ⇒ **準備会**(2008 年 5 月 29 日)

③**【夕陽ヶ丘街づくり協議会】**発足(2008 年 6 月 26 日)

④ **入金**(2008. 7. 15　**5,000** 万円、**100** 万円)

4．【主な事業内容】

4.1　目黒カトリック教会 および **杉野学園 5 号館前工事**

設計：大林組(随契)　**117 万円**

工事：古澤建設㈱　**1,000 万円**

4.2　防犯カメラ(夕陽会事業に協力)

発注先：**㈱アルタクラッセセキュリティ**　**115 万円**(総額 345 万円)およびメンテナンス費用

4.3　花と緑

発注先：**㈱国際環境デザイン協会**(隋契)

・教会　初期費用：34 万円、およびメンテナンス費用

・㈱丸西　初期費用：13 万円、およびメンテナンス費用の約半額補助

5．【運営がセミクローズドな理由】

雅秀エンタプライズの資金拠出の条件は、会員 1,000 以上の夕陽会ではなく、限定されたメンバーで討議される**<u>有志の会</u>**での運営であること。地権者の好意に期待する案件や、時には私権を制限するような微妙な課題を論議するため、勉強会や準備会に参加した地域街づくりの活動を積極的に行う夕陽会会員、およびドレメ通り沿いの地権者に限定している。

東急関連報告

１．新しい建屋建設計画

問題の人工地盤

　6月8日、東急駅地活用促進部門より、夕陽会に下記打診があった。
撮影スタジオニューヨーク館・パリー館の延長線上に、オフィスと集合住宅を建設したい。

場所は、目黒線目黒地下駅より不動前駅に向かい地下から地上に出てくる辺りの人工地盤上に3,000㎡程度の建物（3階建）を建てたい。

町会側 から
①線路を地下化する際に、上部を公園化する暗黙の了解があったのにそれが実現しないばかりか、建物を建てたいなどの要求は、東急の私有地とはいえ、受け入れられない。
②騒音問題が具体的解決を見ない現状で、新たな建物を建てたら騒音がどう変化するのかを示さないで、理解を求められても検討すらできない。

東急側 は
　過去の担当者をヒアリングしたが、東急として公園化する約束をした覚えはない。

町会側 は
　確かに、文書化もされていないし、明確に言葉の言質を取ったわけではない。
　しかし、杉野学園・マンション南目黒苑の建物下部に、土止め工事用アースアンカーを打ち込むなどを承諾するに際し、再三公園化して欲しい旨を表明してきた。

　工事推進に協力したのに、地元はなんのメリットも得ていないどころか、騒音が低下するとの説明であったのに、工事結果は前より大きな騒音と振動の被害を受け続けている。明確に拒否せず、期待をいだかしたまま工事を続けた以上、【地元住民が公園化を約束された！】と理解しているのは当然である。

＊一回目の会談は、平行線のまま物別れに終わった。

２．電車騒音問題

杉野学園短大校舎・磯部邸上部の町会独自の騒音調査結果を踏まえ、東急側でも同一場所で騒音調査をした(7月4日)。
　その結果を鉄道技術総合研究所に持ち込み、対応策などの助言を受けた。（報告8月1日）
　電車の車輪と鉄の線路の相性が悪くなって、騒音を発生させているのではないかとの仮説から、**線路を研磨する。**実施は8月第1週。
　効果を知るため、再度騒音測定をする予定。